

令和2年 第11回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和2年8月20日（木曜日）午後1時30分開会／午後3時50分閉会

招集場所 中央図書館2階 視聴覚ホール

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、渡部教育庶務課長、宮下生涯学習課長、新家中央図書館長、山下山中図書館長、宮本教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、澤出文化振興課長、中蔵教育庶務課長補佐

令和2年第11回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 今日本当に暑い日で、図書館に来るまでに一汗かかれた方もいらっしゃると思います。こんな暑い中ですが、今年は来週の月曜日8月24日から小中学校の新学期が始まります。今日の午前中に校長会がありまして、校長先生方には、コロナの感染拡大防止に非常に神経を使われて大変だという話もしたんですが、併せて熱中症にも十分気をつけてくださいという指示をしたところでもあります。このような厳しい環境の中でも、教育委員会としてもしっかり学校を支えていきたいと思っておりますし、併せて社会教育ですね。いろんな行事があります。これも出来る限りサポートして、いいかたちで出来るものはする、難しいものはどのようなかたちで代替のものができるのかということも検討しながら、止めるばかりではなく充実したかたちでできないかということを検討していきたいと思っております。またお気づきの点がありましたら、教育委員さんからもご助言いただければ有難いと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは議件に入りたいと思います。前回、継続審査となりました議案第23号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）について渡部課長お願いいたします。

- 議案第23号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）について
渡部課長 資料に基づき説明

○山田教育長 それでは前回継続審査としておりました案件ですが、これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 15、16ページをご覧ください。学力向上対策とその基盤となる授業改善に向けた取り組みですけれども、まず授業改善についての成果と課題への取り組みを見ますと、「中学校は小学校に比べ授業改善は進んでいないが」と書いてあります。「依然として講義型の授業を行っている教員もいるため、さらなる授業改善が必要である。」というような取組みになっていますが、この文言については私が教育委員になってからほとんど変わっていません。私も学校現場におりましたけれども、小学校では学校訪問等々でも授業改善が進んでいるという印象は受けています。ただし中学校においては、ほとんど従来の講義型の授業がまだまだ残っているなど

いう印象がぬぐい切れません。何が原因かいろいろ考えていたんですが、以前ならば50代以上のベテランの先生が多くいらっしゃいました。しかし最近では、その方々が退職されたのもありますし、新しい若手の教員がどんどん入ってきているという状況にも関わらず、このような成果と課題の文言でしたらいけないと思います。これは令和元年度の総括ですので、今年度はきちんとした先生方の意識改革を各校長先生を通じてやっていただきたい。今年度まだ授業を見せていただく機会はありませんけれども、そろそろ学校訪問等も始まると思います。ぜひそのことをお願いしたいです。毎年の課題だということを深く理解していただきながら、このことを毎年毎年同じように書いては、課題ですから、課題を解決する努力をしていかないと意味がないと私は思っています。

それに基づいて15ページに戻ります。全国学力調査の結果です。これもやはり先ほどのことがベースになっているのかなと思いつつも、いろいろな努力があつて、小学校では石川県平均である、中学校では平均より下回っているということだと思います。その下に「依然として学校間の差が大きいため、学力向上ロードマップ、学力向上1校1プランを効果的に活用したい。」と書いてあります。学校間の差が大きいためというのは、たぶん小規模校とか大規模校とかそれぞれの学校の実情に応じたところがあるんだろうと思いますけれども、これもやはり中学校においては、県平均並みにぜひとも上げていただきたい。市長さんがよく学力向上は一番大切なことだといろんな機会でおっしゃっています。それも含めて中学校の学力向上、それから中学校の授業改善ということをぜひ真摯にとらえていただきたいと思っております。以上です。

○山田教育長 関連してございますか。

○山下委員 全く同じで、毎回同じことが書いてあるわけです。「ただ依然として講義型を行なっている教員もいる。」と書いてあるんですが、改善率ですね。そういう先生が少なくなっているかどうかを今わかればお答えいただきたいです。

○山田教育長 関連してございますか。よろしいですか。では公下次長、お願いします。

○公下次長 具体的な改善率は調べてはいないんですが、今おっしゃっていただきました中学校の授業改善というのは大きな課題にはなっています。今たくさんICT機器が入ってきていて、若手の先生だけではなく、それを利用する方も増えてきている状況は感じられます。ただおっしゃる通り、講義型の先生もいらっしゃる中で、そこに向けては9月から計画訪問も始まりますので、指導主事の方から指導伝達をしていきながら進めていきたいと思っておりますし、今後1人1台のパソコンについてもそういう活用ができるように、研修や有効な支援をしていくようにして進めていきたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 17ページの教育総合支援センターをお願いします。「外部人材を活用した運営検討委員会を開催して、検証を行った。」と書いてあります。大変素晴らしいことだと思います。外部委員を入れることは新しい目が開かれるので、これからも継続して行なっていただきたいです。成果と課題への取組みのところのプログラミング教育については、市長さんを中心に加賀市はものすごく力を入れていて、私も県の教育委員会の研究大会で発表させていただきましたけれども、非常に誇り得る素晴らしいものだと思います。ただしそれ以外の実践のところが見えてきていません。そのことについてはいろんなセンター便り等を作っていらっしゃ

るということなのですが、実際にはどういふことを教育総合支援センターでやっていらっしゃるのか、そのことについての明確な活動の実践の様子がつかみづらいわけです。資料等がありましたらぜひ提供していただき、我々の教育総合支援センターはこういうふう頑張っているんだということがわかるようなかたちで、ぜひ見える化を図っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。これは要望です。

○山田教育長 教育委員会の方に定期的に資料が提供されておりますので、教育委員の皆様にも資料を提供するというところでよろしいですか。

○篠原委員 はい、よろしくお願ひいたします。

○山田教育長 今のご意見について宮本所長、いかがですか。

○宮本所長 教育総合支援センターには2つの部屋がありまして、教育支援相談室の方は、いわゆる不適応状態の子ども達への支援についてのいろんな活動、学校対応とか実践状況とか、またそちらも教育委員会を通して提出したいと思ひます。また開発部の方で、以前の教育研究所になりますが、そちらで行なわれているいろんな活動もありますので、その成果等も出来上がりましたときにご報告したいと思ひます。

○山田教育長 他、ございませぬか。

○篠原委員 19 ページをご覧ください。家庭学習の量と質の向上という事業です。その中を見ますと、「各学年×10分」というのを基本に添えてやっていらっしゃるということなのですが、平成29年度の年度末の実績が、小学校4年が92.3%、小学校6年が94.1%で中学校が103%ということで100%を超えています。中学校は一体何分の基準なのかまづ教えていただきたいです。

○山田教育長 公下次長、お願ひします。

○公下次長 数字だけ見れば中学校3年生の場合、受験やその他のことでの関連があると思ひますが、この中学校のパーセンテージの数字の基礎をもう一度調べたいと思ひます。

○篠原委員 小学校6年生が60分ということなので、当然それよりも多くなってくると思ひます。そこでこれは中学3年生だけを取り上げていますけれども、中学1年生、2年生の実態はどうかかなということも併せて、もしわかれば調査していただきたいと思ひます。中学3年生は受験ということもありますので、通常よりも多くなって100%を超えているのはわかると思ひますけれども、まづ中学校の学習の基準時間は何時間にしているのかということ、そして中学1年生、2年生ではどれくらいの実態になっているのかということも併せてご報告いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○山田教育長 次回の教育委員会のときにご報告するというところでよろしくお願ひいたします。他、ございませぬか。

○篠原委員 21 ページをご覧ください。コンピュータクラブハウスについては、先日も北國新聞に大きく取り上げられて、加賀市での先進的な取り組みについて石川県内、あるいは他のところにも大きくアピールできたんじゃないかと思ひます。現在、クラブハウスに多くの予算を使っていますけれども、何人の方がいらっしゃるのか、その中で加賀市の子ども達はどれくらいいらっしゃるのかお聞きしたいです。

○山田教育長 宮下課長、お願ひします。

○宮下課長 昨年は延べ121回で1,192名の方のご利用をいただいております、今年はコロ

ナの関係もあり、5月末までお休みをいただいていたところですが、6月から再開いたしまして、昨日までで42日間営業したところ、328名の方のご利用がありました。平均でいうと1日7.8人ということで、昨年度は1日10名くらいになりますので、コロナの関係で人数制限等をさせていただいていることもありまして若干減っております。その中で加賀市のお子さんかどうかは確認していないと思うので、そのところは不明になっております。

○篠原委員 加賀市の予算を使っているのだから、加賀市の子ども達にたくさん訪れてほしいというのは願いです。ですから確認をしていただいて、加賀市の子ども達がたくさん参加できるように、各小中学校の方に校長先生を通じてお伝えをいただきたいです。これは素晴らしい取り組みなので、今後も活性化をしていくようによろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 20ページですが、プログラミング教育の推進の中で、令和元年度には夏季休業中を中心とした9回の研究会をされたと書いてありました。今年はコロナの関係で研究会もままならないと思うんですけど、令和元年度は9回の研修会を行なってどうだったのか、まだ自分の中で十分理解ができないという先生がいらっしゃるという話は多々聞こえてまいります。その辺今年度以降もこういった研修会がしっかりされているのかどうかお聞きしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 この取り組みについては、毎年、先生方に研修を受けていただきながら、最終的には先生方を中心に授業をしていただくという流れになります。今年度の前半戦はコロナの関係で研修等はできなかつたんですが、夏休みとかも利用しまして、今週に3回プログラミングの研修を行いました。この状況なので、なかなか講師の方をお呼びするのは難しいんですが、オンライン等を使いながら、研修の回数は減っていますけれども、現在、ここ連日中学校の会場を中心にして、小学校の先生も集まっていたりして研修を行っております。

○山下委員 コロナの関係でなかなか難しい状況でありますし、前回は申しましたが、今後オンラインの授業体験をしなくてはいけないと思います。先生方が事前にこんなことをやってみようと、オンラインで研修を積極的にやってみて、不具合等を研究されるのもいいのかなと思いますので、オンラインでの研修等々も増やしていくのはどうかという意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 25ページをご覧ください。学力向上公営塾についての成果と課題の最後に「令和2年度から、「かがっ子休日スクール」の開催を参加希望者減少により取り止める。」と書いてあります。私個人的には非常にショッキングな文言だったんですが、どういったところでこういうことになってしまったのかなというのが1点です。

2点目は、中学校の実用英検の受験希望者に練習を実施したと。Ⅰ期17名、Ⅱ期35名、Ⅲ期12名が参加したと書いてあります。その中で実用英語検定には何名が合格されたのか、その結果をお知らせいただきたいと思います。

それから3点目は、中学校の休日スクール、これは今年度コロナ禍の問題があるので、どういった状況にあるのか併せてお知らせいただきたいです。

○山田教育長 関連してございませんか。

○佐野委員 かがっ子休日スクールの取り止めによって、例えば保護者から開催してほしいとか、もしくはできないのであればプリント等を出してほしいなど、そういった声は出てきてい

るのか、そしてそれに対して対策はできるのかお聞きしたいです。

○山田教育長 他、ございませんか。では公下次長、お願いします。

○公下次長 小学校の方の開催についてですが、減少傾向で開催が難しいということを知っている段階でしたので、その辺はまたこちらの方で今のご意見を受け止めながら確認をさせていただきたいと思います。

2点目の英語検定の合格率についてですが、本日持ち合わせておりませんので、また報告させていただきます。

最後の小学校の休日スクールを止めたことに対する要望は、今のところこちらの方には上がってきてはいません。

○篠原委員 止められた理由というのは希望者が減少したということで捉えてよろしいですか。

○公下次長 はい、希望者の減少ということであります。

○篠原委員 令和元年度は各会場に何人かいらしたと思うんです。それを今年度一気に止めたと思うので、それを例えば希望者が減ったならば、縮小して開催するとか、そういう方法もとれたんじゃないかなと思います。

それから休日スクールの中学校の令和2年度の状況はどうかお聞きしたいです。

○公下次長 中学校のかがっ子休日スクールについては、この夏休み中には実施しませんでした。

○篠原委員 今年度小学校の場合は、取り止めと書いてありますから非常にショックなんです。何か所かの会場でやっていたと思うんですけど、それを例えば会場を減らすとか、そういうようなことは考えられなかったですか。それからそのような要望も保護者からまったくなかったですか。

○公下次長 またその経緯については調べてまいります。

○篠原委員 また次回お願いいたします。小学校の中で特に算数を中心になかなか学力が定着しないと、これは延いては学力向上にも大きく影響してくるわけですね。加賀市が公営塾としてこういうことをやっているのが、非常に素晴らしい取り組みだと常々感服しておりました。ですからそれを全廃することは非常に遺憾です。次年度は予算のこともあるかもしれませんが、それも踏まえてこの小学校の休日スクールの復活をお願いしたいです。これは私の意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 26ページのきめ細かな指導の取り組みについてお願いします。これは加賀市の教育委員会が非常に努力なさって、35人以上となった学級について講師を配置するという事で、素晴らしい取り組みだと思っております。成果と課題で、週20時間という勤務時間ということではいろんな課題が出ていますので、「勤務時間数を増やし、児童に対しよりきめ細かな指導を実現するために予算の増額に努める。」と書かれています。今年度ぜひ予算を増額するような取り組みを強力に行なっていただき、子ども達の学力向上に繋がるようお願いをしたいと思います。これは意見ですので、答弁は結構です。

続いて28ページにQ-Uのことについて書かれていました。不登校傾向を把握するためのひとつの素晴らしい方法であります。私が現役のとき、教育委員会の予算がつかない段階から学校独自の予算で実施していた経緯がありますけれども、これをもう行わないというようなことが総括に出てきていました。では不登校が完全に少なくなったのか、あるいは生徒指導上のい

ろんな問題がまるっきりなくなったのか、たぶんそういうわけではないと思います。市の教育予算でできないのであれば、各学校の独自予算でも結構ですから、Q-Uの効果をうまく活用して、学級内の状況についての把握を各学校の方にご指導いただきたいというふうに思っております。なぜQ-Uがなくなったのかということだけご質問したいと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 各学校では関係機関も入りながら、児童生徒の状況把握に努めていますし、学校の中でもしっかり体制は組んであります。学校でアンケート等もやっており、そういう点での把握はしておりますので、すべてではありませんが、Q-Uに替わる補充はできていると思うんですが、確かに自分も現場にいたときにQ-Uを活用させていただいて、いろんな学校の分析をしていましたし、生徒指導に活用している部分もありました。そういう点でその有効性は自分も把握している中でも、今きめ細かな学校でのアンケート等々、情報交換も行なっておりますので、その点また校長会の方でもお伝えしていきたいと思います。

○篠原委員 学校の中にスクールソーシャルワーカーとか、スクールカウンセラーとか外部の方がたくさん入っていらっしゃるって、それぞれの構築体制はできていると思いますが、やはり基本となるのは学級です。学級の中で生じる問題が不登校、あるいはいじめ等々のいわゆる生徒指導の問題として波及してくることが多くあります。ですから学級内での人間関係、子ども達の間を科学的に分析ができる方法としてのQ-U検査というのは大変素晴らしいと思っております。数年ほど前に加賀市でも積極的に取り入れて、Q-Uの開発者の先生を講演会に招いたことも記憶しております。ですからこれは継続して取り組み、継続して人間関係の把握ということ、各学級の担任の先生方にも理解していただきながら、いわゆる積極的な生徒指導というものをこれからも確立していただきたい。そのための方法としてQ-Uがあるわけなので、科学的に分析が出来る方法として加賀市は推進していこうということでやっていたわけです。そのことがこれからまるっきりなくなってしまうのは非常に残念なので、このいじめや不登校等々の問題が未然に学級担任の先生に、あるいは学級担任を通じて学校全体に理解と把握ができることが非常に大切だと思いますので、市教育委員会としてもぜひ力を入れてやっていただきたいと重ねて要望したいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 今のところの成果と課題への取り組みのところ、「カウンセリングにより、児童生徒や保護者の不安が軽減し、不登校の改善につながったという学校からの報告もあった。」とあり、その下に「依然として不登校児童生徒の増加」とあるんですね。非常に相反するような結果がここに書かれており、これについて実際に増加したと思うんですが、上の文章と整合性がとれないかなと思ひまして、その辺なにかしらの原因があればお話しいただければと思います。

もうひとつは事業費が元年度が突出しているのは結果としてかかったからだと思うんですが、その辺もお答えできるのであればお願いいたします。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 スクールカウンセラーのカウンセリングによって児童生徒や保護者の不安が軽減したと、また不登校の改善と、これはすべて数字に結びつくということはなかったんですが、やはり難しい事案とか、そういう点でカウンセラーが関わったことによる改善が見られて

いたということです。以前からずっと継続的な部分とかもありまして、数字にはすぐ反映されませんでしたけれども、そういう部分では負担軽減としてスクールカウンセラーは大きかったと思います。ただ増加傾向ということに関しては、今後も十分に対応していくことを考えております。

2つ目の元年度の需用費の部分は、重大事案の関係で対策委員会の回数が多くなったということがあります。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 30ページの宿泊体験学習についてです。加賀市においては令和元年度に加賀市内の施設を利用した学校が18校中2校で、段々減っています。令和3年度の目標は9校と書いてありますけれども。現状はわかるんです。いろんな施設が加賀市では不足しているからなんじゃないかと思います。このことについて毎回、加賀市の施設を利用してくださいねと、市の教育委員会から学校現場に言われていると思うんですが、なぜこんなに減ってきたのかというのが1点目です。

2点目は、今から新しい施設を作るとするのは難しいと思いますけれども、例えば小松市、あわら市など遠くまで行って宿泊体験をしているというのが現実だと思うんです。このことについて抜本的に令和3年度の目標を立てて50%にするということを書いても、現実的ではないと思います。このことについての現状と今後の課題についてどういうふうに使われているかお聞きしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 ほとんどの学校が市外の宿泊施設を利用していることについて、今あがりました小松市やあわら市の方の活動のプログラムが充実しているということで、その影響でほとんどの学校がそちらへ行っているということもあると思います。施設の充実面が加賀市の課題でありますので、確かに現状のままでしたら、令和3年度の50%という目標は大きな数字になるかもしれませんが、「百笑の郷」への受け入れ等も働きかけをしていながら対応は考えていきたいと思います。

○篠原委員 目標が掲げられている限り、それに向かって努力することが必要で、やはり「百笑の郷」なんか非常に良い取り組みをなさっていますので、市教委として支援をしていかないとなかなか難しいと思うんです。そこで「百笑の郷」の運営が少しでもスムーズにできるような支援だとか、その中に子ども達を入れていただいて、活動できるような取り組みをしていただきたい。このままでは2校がゼロになる可能性が十分にありますので、そうならないように努力をしていただきたいと思います。

続いて、評価について34、35、37ページを一括してお願いします。学校評価システム、いろんなところで評価を行なっておりますが、これが本当に機能しているのかどうかというのをお聞きしたいです。各学校では必ずPDCAサイクルの学校評価システムを作っていますし、私がいつも考えているのが評価の基準です。数値で出てこない評価があまりに多過ぎます。これはやはり指導する必要があるんじゃないかと思います。具体的にどれがどのように変わったのか。小さなステップでいいんです。スモールステップでやらないと全然変わってこない、改善してこないとつくづく思っております。

関連して、教職員人事評価制度の活用です。私も現職のときに、各先生方に目標管理をして

いただきました。面談を行いながらまずそれぞれの当初の目標を出していただき、中間でどうなっているかと、そして最後には総括の評価をしていただきましたけれども、このときに私が常々言っていたことは、大きな目標はいりませんと、小さな具体的な目標を書いてくださいということです。私自身、この目標管理が県からやりますと下りてきたときに、研修に何度か行かせていただきました。現在、研修はたぶんないんだろうと思います。もしなかったらぜひ管理職の評価研修会を行なっていただきたい。評価研修会を行わないで評価はできませんので、まず評価を行う管理職の技量をアップしていただきたい。これが1点目です。

2点目は、評価を行なったことで、結果が処遇に反映されているのかどうかということをお聞きしたいです。具体的に言うと、管理職の人事評価については、勤勉手当に影響してまいりましたが、それが今現在は一般教職員に下りているのかどうかということも併せてお聞きしたいです。ですからただ形式的にやればよいというわけではないわけですね。やればやっただけの成果が上がらないと、先生方、あるいは評価をする方、両方が大変なんです。ぜひこの評価を生きたものとしていただきたいです。

○山田教育長 関連してございますか。

○山下委員 同じところで、成果と課題の取組みの最後に、「管理職の評価精度や能力を高めるための指導・助言に努める。」とあります。実際に市教委としてどういった評価方法をされているのか。教育業界というのはどちらかというと閉鎖的な感覚があります。一般の企業であれば、こういう管理者の評価というのは非常にシビアなものとなっております。その辺のチェックを管理職としてのしっかりとしたスキルを持ってする基準、篠原委員がおっしゃったように小さな目標がクリアできているとか、そういった部分を市教委としてどういった指導をされているのかお答えいただければと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○佐野委員 学校評価の保護者アンケートなんですけど、以前は封書でのアンケートが多かったんですが、前回からQRコードを使ったスマホでの読み取り、そしてアンケートを送信するというかたちが変わってきていたんです。それによって個人情報とかは大丈夫なのかなどというのと、スマホでアンケートをすることで、利用率はどれくらいあったのかお聞きしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 まず学校評価についてですが、生徒アンケート、保護者アンケート、あるいは学校の職員アンケート等での数値を示しながら、学校評価をしている学校はたくさんあると思います。また確認をしたいと思いますが、自分が知っている中では、アンケートで数値を出しながらの評価をしているところは多かったと思います。

QRコードのアンケートについては、自分の方では把握しておりませんでしたので、お答えできなくて申し訳ありません。

あと人事評価の部分で、管理職の研修、これは自分も管理職になった当初のときには人事評価研修がありました。校長会でも人事評価についてはお示しをしまして、評価のポイント、それから冊子等もありますので、校長にはその確認をするように努めております。そしてそれを人材育成に必ず生かして、面談等の中でその業種の力を高めていくような評価をお願いしたいとは伝えてあります。処遇反映については、今は一般の教員の方に関しても処遇反映はされております。

○山田教育長 補足しますと、新任教頭に対して、評価研修会は全員に行なっております。他、ございませんか。

○山下委員 27ページの道徳教育の充実の中の、成果と課題の取り組みですが、いろんなことがされている中で、「多くの学校において、地域人材、地域教材を活用した取り組みが増えてきている。」ということが書かれています。しかしこの事業費を見ますと、令和元年が下がっているわけです。地域人材の方々はもちろんボランティアで来られる方が多いかと思いますが、具体的な例というか、こういった取り組みがあったと、それに対してこういった事業費が用いられたというのが、お話できることがあればお願いいたします。非常に少ない金額で運用されている事業ですけれども、充実した事業となるようにと思っておりますのでお願いいたします。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 道徳教育についてですが、令和元年の30万円というのは、確か道徳教育の推進指定校がありまして、そこに県の方からの事業関係の部分が入っていると思います。そして学校での取り組みの状況、これも以前いました学校のこの話になりますけれども、地域のお仕事の関係の方とか、地域人材を活用してゲストティーチャーに来ていただいたりとか、あるいは地域の方に子ども達のグループに入ってもらって一緒に意見を交換してもらったりとか、そのような活動をしている学校が増えております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 38、42ページをお願いします。小学校3、4年生の「わたしたちののびゆく加賀市」についてはこれを活用しないと授業になりませんので、活用しているのはよくわかりますし、これを今回改定されたということで大変嬉しく思います。そこで課題ですけれども、小学校6年生の「加賀市の歴史」、これは子ども達一人一人に分けられるものではなくて、学校に備え付けです。中学校の「社会科学習帳」はわかりませんが、学校に備え付けかもしれません。この小学校6年生の「加賀市の歴史」と中学校の「社会科学習帳」については、どのくらい活用しているのか。これは年間指導計画の中にきちんと位置付けられているのかどうかというのを確認したいと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 以前からも活用状況のお話はあったと思います。私の方ではまだ確認をしておりませんので、今年度の使用状況の方を学校の方に確認して調べていきたいと思います。年間計画の方についても、どこにどのように入っているのか見ていきたいと思いますので、またこの部分は今年度の課題として確認していきます。

○篠原委員 ふるさと学習というのは市の大きな目標のひとつなので、それが実際に生かされる場面というのは、学校教育の中でここしかないですよ。授業の中で生かされているのがここしかないの、このところの実践活用、きちんとした指導をお願いしたいです。もし年間指導計画に位置付けられていないなら、きちんと位置付けられるようにご指導いただきたい。特に6年生の「加賀市の歴史」について、中学校の「社会科学習帳」についてはぜひ行っていただきたいです。それからこれは予算の関係があるかもしれませんが、6年生の「加賀市の歴史」は大人が読んでも非常にわかりやすく素晴らしい本です。ですからこれを予算化して子ども達一人一人に配布できるように、ぜひふるさとの郷土学習資料をきちんと活用することを

お願いしたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 44、46 ページをお願いします。災害時のことがここに出ています。「東和中学校に防災対策課が毛布、飲料水を備蓄した。」と書いてあります。まず災害対策のところでお聞きしたいんですが、これは直接教育委員会の絡みではないので、防災対策課が中心になっていると思いますが、学校施設を利用しているということで、関連しておわかりになるところだけで結構です。市内の防災備蓄は、前の市長さんのときからもお聞きしたことがあるんですが、あるいは子ども達からも子ども議会で質問してもらったことがあります。流通備蓄という名のもとに大規模店舗、あるいはコンビニの物で備蓄を行なっていると。これは若干方針が変わったのかもしれませんが、東和中学校に毛布や飲料水を備蓄したと書いてあります。私が知っている範囲では、錦城中学校はPTAの予算で乾パンと水を、錦城東小学校では教育後援会の予算で同じく乾パンと水、錦城東小学校については以前に学校でキャンプ等をしていたのでテントだとか、給食のいらなくなった食器だとか、あるいは毛布を備蓄してあると思います。これは継続しているかは確認しておりませんが、市内の小中学校における備蓄状況を教えていただきたいです。

2つ目は、太陽光発電についてです。成果と課題に書いてありますように、それが本当に災害時に使えるのかどうか、「災害時や停電時においても自立運転により使用できるコンセント及び、充電した電気を夜間にも使用できる蓄電池の設置を検討していく。」ということはたぶん使えてないんだと思います。せっかく素晴らしい太陽光発電が各学校でできており、今後もこれは予算化して作っていただければいいと思いますが、昨年度は3千万円あまりお金を使っているわけですね。ですからそれが本当に役に立っているのか。今、太陽光発電は何に使っているのかということも併せて教えていただきたいです。

○山田教育長 渡部課長、お願いします。

○渡部課長 各学校の備蓄状況なんですけれども、これに関してはきちんと確認ができておりませんので、次回まとめてお答えしたいと思います。

2つ目の太陽光発電は、実際に使えるかどうかというところは、本当に災害が起こった際のそれほど大きな力にはならないのかなど、いろんな課題があります。そういったところもありますので、利用については今後、検証が必要ではないかと思っております。

○篠原委員 3千万円余りをかけて太陽光発電の施設等を作っていらっしゃるのだから、やはりそれが何に使われているのかを教えていただきたいし、緊急時の災害の時にそれをコンセントとして、自家発電として使えるようなシステムを作らないと何のためにやっているのかわからないですね。今は太陽光発電は学校の電気料の軽減のために役立っていると理解してよろしいですか。

○渡部課長 電気料に反映されているのは確かです。それと3千万円の金額ですが、これは全体事業費というか、太陽光発電の分だけではなく、冷房化整備の分も入っている金額になります。

○山田教育長 他、ございませんか。

○佐野委員 48ページのトイレの洋式化推進ということで、以前、小茂出課長のときにトイレ1カ所につき洋式トイレ1つで整備しました、それで終わりましたということを知って、今の

生活様式の中、ほとんど和式を見ない時代なので、これからも洋式の数を増やしていくようにお願いしたいと思います。

○山田教育長 渡部課長、お願いします。

○渡部課長 トイレの洋式化ですが、平成 26 年度の各学校の設置状況をもとに、平成 27 年度から 5 年間で洋式トイレを増やしていくという目標を立てました。例えば錦城小学校を 100%にする、次に錦城東小学校を 100%にすると、実際にそういうふうに行くと非常に年数がかかるということで、とりあえず中短期的に各学校を平均的に洋式化していくという、そういった現実的な目標値として 50%になっていると思っております。それで 50%が実際にそれでいいかどうか。今とりあえず洋式化が 5 年間でいう中で一段落したということですので、実際に各学校に、現状約 5 割というところまで来たんだけどどうか、という検証も含めてまたそれ以上増やしていくか、検討していかないといけないと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 40 ページの郷土の伝統文化に親しむ活動の中の、能楽と茶道の実施をずっとしていた中で、今後能楽のみとするということでもあります。「加賀市は、加賀百万石の金沢にも劣ることのない歴史と文化を有しており、現在も、能楽や茶道が盛んに行われている。」とあり、最後に「能楽を中心とし、」ということで、数値目標としても、能楽のみとして、茶道は廃止となっていますよね。実績校を見ますと、大きな実績があるにも関わらず、廃止とする理由と、これを例えば隔年実施とか、そういうことを検討されなかったのかなと思いました。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 茶道の部分ですけれども、各学校の方でクラブ活動とか、そういう部分でも行なっているんですが、小学校でだいぶ定着してきています。それで最初の部分は予算を付けながらその定着を図っていたので、補助をしていって、もうほとんど定着をして、他のクラブと同じようなかたちになっていますので廃止というかたちで、今度は能楽の方だけに絞って推進を進めていくということです。

○山田教育長 能楽は 3 年で 18 校まわるという計画で、能楽の充実を図るということです。他、ございませんか。

○疎委員 49 ページの通学路の安全確保で、コロナの関係でなかなか交通指導とかもできなかったと思うんですが、自転車のマナーも悪いし、一般の車も朝はすごいスピードで走っている車もいるので、子ども達に安全指導もしないといけないんだろうと思うんですが、できることなら大人の方もチェックしてもらえるといいのかなと思いました。朝はやっぱり出勤する人がすごいスピードを出しているんで、どうしても自動車と自転車が接触すると自転車は絶対に危ないですし、子ども達にマナーを守ってだけ言ってもダメなのかなと思います。何か良い方法がないのかなと。

○山田教育長 公下次長、いかがですか。

○公下次長 中学校のマナーの件に関しては、毎回、校長会でお話はしているんですが、それもまたしっかりと伝えていきます。学校ではコロナ禍であっても遅れながら安全マナーの指導等は行なっておりますので、今おっしゃった点については、中学生に対してはそういう場を見てまた指導していくように伝えていきます。大人の指導も難しいですが、大事なことで、皆さんで考えていく必要があるかなと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 87、88 ページをお願いします。このコロナ問題の中で、非常にご努力をなさって本当にありがとうございます。レファレンスサービスですが、だんだん多くなってきています。これは図書館で働いていらっしゃる職員の皆様方が日頃から頑張っ能力向上をしていき、それに対して答えられるということが、多く反映しているんじゃないかなと思います。レファレンスサービスの充実は、令和元年度の段階で令和3年度の目標をはるかに超えていますので、今後もっと充実させていただきたいとお願いをさせていただきます。

88 ページですが、いろんなサービスを図書館でしていただいています。今お聞きしたいのは、図書館のホームページには国会図書館と石川県立図書館と小松市とあわら市の図書館のリンクが貼ってあります。ある人に、加賀市の図書館に言えば国会図書館や小松市の図書館から蔵書を借りることができるんだよという、「へえ、そうなんだ」と言われますので、近隣県、あるいは国の本を借りることができるということをわかりやすくPRしていただけないかと思います。

そして令和元年の施策の内容に新規登録人数が小松市は56人、あわら市が23人とあります。逆に我々が小松市に行って小松市で登録もできるのかなということを併せて教えていただきたいです。

○山田教育長 新家館長、お願いします。

○新家館長 レファレンスサービスに関しては、また今後も努力していきたいと思っております。

他の県立図書館などから本を借りられることの周知が、それほどされていないかもしれないので、図書館だよりや図書館のホームページ等でまた周知を行なっていきたいと思っております。

加賀市の市民が小松市の図書館の本を借りられるかどうかということなんですが、小松市とは協定を結んでおりまして、加賀市民であれば小松市で図書館のカードを作って登録し、借りることはできます。あわら市も同じようなかたちをとっているんですけども、あわら市は加賀市でまず図書館のカードを作った上で、あわら市でまた図書館のカードを作るというようなかたちで少しだけ違います。どちらも利用することはできますので、またご利用いただければと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 53 ページをお願いします。タブレットが全児童生徒に配布されたのは有難いことです。その中で、現場でちょっと混乱が生じているというお話をお聞きしました。タブレットの台数は十分あると思うんですが、OS について統一されたものであるのか。多くが Chrome OS を使っているということなんですね。大変使いづらいとか、使い慣れないと。普段は Windows が主流で、その他に MAC OS があると思います。Chrome OS で統一されていれば、その研修をすればいいんですが、この何百台あるタブレットの OS 統一が図られているのかどうかをお尋ねしたいと思っております。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 G I G A スクール構想の中で入れたのは Chrome OS になります。ほとんど県内では Chrome を入れております。このあと県立の方も Chrome が入っておりますので、その点から考えて Chrome を入れております。パソコンルームには Windows も入っておりますので、確かに混

在はしています。WindowsにChromeを入れての使用はできますが、今までWindowsを使っていた先生方は少し不便になっているかもしれません。今後はChromeに統一していくように考えております。

○**山下委員** Chrome OSは私も使ったことはありませんが、調べてみると非常に使い勝手が悪いOSであるようなことが書いてありました。移行期間が3年ほどあるんですけど、その中で実際にあまり使われなかった先生、使った先生で差ができていくという話をお聞きしました。今後はなにかしらそれに対する教材も出ていると思いますので、皆さんChrome OSの研修をしましょうというかたちで統一していただけたらと思います。

○**篠原委員** 関連してお願いします。Google ChromeのOSをぜひ研究所の方で、主体的に先生方にわかりやすくできるようにしていただきたい。教育委員会の方で研修をやるといってもどうしても限度があります。これからはGoogle Chromeが中心になっていくと思いますし、学校現場で使っていかなければいけないので、そのためには研究所の主体的な先導的な研究内容のところで、Google ChromeのOSをどうやって皆さんに理解していただくのかということを知りやすく、それこそオンラインの講義でもいいですし、こういうふうにして使うんだとPDFか何かで流してもらってもいいですし、現場としてももうタブレットがあるんですから、早急にやってもらいたいです。

○**山田教育長** 梶谷局長、お願いします。

○**梶谷局長** Chrome OSを選びましたのは、クラウド型ということで、いかにパソコンの立ち上げを早くして授業の中で使えるか、立ち上げに手を取られないようにということがあります。教育長はじめ、私どもも実際に展示会、説明会に行ってみました。Windowsだと重くなり、GIGAスクールで同じようなスペックだと10何万円ということで、当初はWindowsである程度の台数を予定していたんですが、今回の国の補助は4万5千円なので、それをChromeに変えまして、当初と補正であげたもので倍以上買えるということで一気に進みました。先ほども言いましたが、Windowsに入っているものにはChrome OSをのせるようにしています。一部iPadもありますが、タイピングということでやはりディスプレイとキーボードというものが基本になるかと考えております。そちらの方に移行していきます。そしてGoogleの方は研修会を無償でやっていただけます。導入していただいたところには積極的に研修会を開いており、その辺も評価して導入したということでございます。GoogleのOSの方にはClass Roomということで、オンラインでのクラス管理、双方向でのやり取りということもありますので、そちらの管理、やはり先生が使いこなすというのが一番の課題です。機械のハードの方は進んだんですが、そのハードの使い方自体と、あとは授業でどう使うかということですね。よく言われるのは、紙ドリルをパソコンにしましたと、同じ問題をやっていけばそれがICT教育になっているのか。そうではないです。それは単なる紙がパソコンに変わっただけなので、いかにして本当の授業の中で使うかというのが日々の課題だと思い、指導主事はじめ、支援センターの方も検証しております。これは早いうちにしなければ、GIGAスクールを早く導入した意味がなく、やはりものがあれば早く検証できて、早く身に付くと思っております。そういった意味ではそちらの方は早く取り掛かりたいと思います。

○**山田教育長** 他、ございませんか。

○**棟委員** 57、58ページの学校給食の充実、食に関する指導のところで、今回コロナですと

学校がお休みで、その間給食が食べられなかったと思うんですけど、子ども達の食生活に関する事で、学校から食に関する指導とかがあったのかお聞きしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 気にはかけていたんですが、休校中に指導があったかは、また担当の方に確認させていただきます。

○山田教育長 生活習慣については、家庭訪問等できめ細かく確認をしていただいて、その中でちゃんと食べているかの指導もあったと思います。

他、ございませんか。

○山下委員 91 ページのセミナーハウスあいらすの成果と課題のところ、「市民や公園利用者が使いにくい施設になっており、費用対効果が少ない。」と書いてあるんですが、個人的には使いにくいと思いませんし、駐車場も広いですし、費用対効果としてはあるのかなと思うんですが、この辺、どういう見解でこの文言になったのかお聞きしたいです。

○山田教育長 宮下課長、お願いします。

○宮下課長 セミナーハウスあいらすに関しましては、近年、交流プラザさくらもできまして、会議室の利用にも影響があったり、あと宿泊施設なので、どうしても市内の方の利用が少ないということで、今現状を見ておりますと、やはり市外の方のご利用が多い状況で、もう少し加賀市民の方のご利用が進むようなご提案をしていただければと、次回の公募の際には思っております。

○山下委員 これは意見ですが、費用対効果が少ないとは思わないです。例えば大きな 120 名のあいらすホールを 1 時間借りても 3,200 円で非常に安く借りられるということで、実は会議をしようと思っても市民会館もさくらも使えないので、これは何かしらの宣伝というか、その辺を進めていただければ非常に良い施設だなと私は思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 125 ページの文化振興課で、ここにはボランティアのことが書かれてあります。解説ボランティアについて、令和元年度は九谷焼美術館が 14 人、北前船の里資料館が 6 人、深田久弥山の文化館が 1 人となっているんですが、これで本当に 2023 年度の春の新幹線の開業に向けて来館者に対応できるのかどうかということが非常に心配です。養成講座の開設等を検討する必要があると書いてありますので、現状、そして今後どうかたちでもっとこちらを充実させていくのかということについてお尋ねします。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 特別に新幹線の開業に向けて講座を設けることは考えておりませんが、どういったところにどういった不足があるのか、これから検証していきまして、必要な養成講座を検討していきたいと思っております。

○篠原委員 ぜひまた充実させていっていただきたいと思っております。

続けてお願いします。135 ページの加賀市ゆかりの人物紹介と発信についてお願いします。そこで大聖寺にある鴻玉荘の離れ座敷等を今整備していただいている最中だと思いますが、鴻玉荘にエアコンがついていたということをお聞きしました。あれは市の文化財指定になっていますよね。ですからそれが文化財保護審議委員会の中で了承されたのかどうかということだけ確認をしたいと思っております。素晴らしい建物なのにも関わらず、無粋なエアコンの室外機が出て

いるとお聞きしましたので、どういう状況でどういう整備をなさっているのか、私も把握しておりませんので、お願いいたします。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 鴻玉荘の修理につきましては、工事の内容について文化財保護審議委員会に諮っていると思いますけれども、エアコンを何台付けているとか、こういうふうに付けているといった詳細な報告まではされていません。大雑把に外観と内装を修理するといった内容だと思いますので、そういった報告がどこまでなされているのかということと、エアコンの設置が現状変更の許可に触れるのかどうか。要するに将来的にそこを外して壁などが補修できれば、支障がないという判断もあり得るかもしれませんので、その辺、ふさわしい内容だったのかどうかということも再度確認したいと思います。

○篠原委員 ぜひお願いいたします。文化財として市に登録されているものなので、このことは慎重に考えないと、せっかくの素晴らしい文化財が破壊されてしまうことにもなりますので。仮にエアコンを付けることは今の状況ですので、致し方ないかもしれないですけど、それが本当に景観にマッチしているのかどうかということも、十分に把握していただきながら、文化財保護審議委員会の先生方にご検討いただきたいなと思っております。

続いて、136 ページのデータベースの作成と活用のところをお願いします。そこには「歴史民俗資料の電子台帳化を進めた。」と書いてあります。加賀市は残念ながら石川県内で唯一、歴史民俗博物館や郷土館がありません。これは 155 ページにも展示施設が必要だという課題が出ていますので、地元の町民としましても、これは強力に支援をしていきたいと思っています。石川県内で唯一、民俗資料や郷土資料が展示されていないということは、加賀市の素晴らしい宝を埋もれさせてしまっているということになります。これは十分に観光振興にもつながるものだと理解をしております。現状すぐにはできないので、その中で歴史民俗資料の電子台帳化と書かれていますので、これを例えばこんな素晴らしい資料がありますよと公開する予定があるのかどうかということについてお尋ねをしたいと思います。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 今、現在閉館中ですが、ここにありますように3カ年で台帳化を進めておまして、相当数の半造品や作品があるわけなんですけど、せっかく電子化をしましたので、そういった情報を公開できるようなことを今後検討していきたいと思っています。

○篠原委員 学芸員の皆さんの技量向上にもなりますし、展観施設を作っていただく、あるいは開館していただくことが一番良いですけど、事前の策としまして、地元の子供達、市民の皆様方に加賀市にこんな素晴らしいものがあると理解していただくためにも、電子データ化ができていけば、公開する方向でお願いをしたいと思っています。

続けて、137 ページをご覧ください。市民向けの講座は令和元年度は2件しか行っておりません。やはり今、展観施設がないのですから、文化振興課の方で主体的に積極的にいろんなところで講座をPRしていただきたい。私が学校現場にいたときには、文化財保護課の学芸員の皆さんに出前で縄文土器や弥生土器を持ってきていただいて、説明していただいていたこともありますので、もっと外へ出て子ども達、市民の皆さんに訴えかけるような積極的な活動をお願いしたいなと思っております。これは意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 123 ページに体育施設の有効活用の推進とあります。おそらく山中武道館なんかもそうなのですが、各地にある体育施設が今からどんどん老朽化していきます。それについて有効活用というか、改修も統合も含めて、今後の展望が何かあればお伺いしたいと思います。

○山田教育長 田中課長、お願いします。

○田中課長 体育施設も含めまして、今年度、市で所有している各施設について、個別施設計画という、施設ごとに今後の方針などを策定する予定にしております、その中で各体育施設に関しても今後どのようにしていくか、旧加賀市、山中町で2つ所有しているものについて、それを統合するのか、それを必要として残すのかも含めて検討させていただきたいと思っております。また今年度中に完成する予定となっておりますので、またお知らせさせていただきたいと思っております。

○山下委員 またお願いいたします。続いて 138 ページの歴史文化資産を活かしたまちづくり施策の推進の中で、一番最後に「加賀市歴史文化基本構想は、歴史文化資産の保存活用計画を、文化財関係部局のみならず、全庁的に施策に反映させることをうたっているので関係部局と協力していく。」とあります。例えばいくつかの部局が関係して行なっている委員会とか、そういったものが定期的にかかっているのかお尋ねしたいと思います。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 平成 22 年度に加賀市歴史文化基本構想は文化財サイドで進めてきたんですけど、その流れを受けまして、3年ほど前から建設部の都市計画課の方で、歴史的風致維持向上計画ということで、国交省の絡みで計画策定を進めております。そこに文化財サイドも入りまして、その他関係部局も集まりまして、今年度、国の認定を受けるような見込みで進めております。まだ加賀市のどこでやるか、具体的なエリアは決定ではないんですが、大聖寺の城下町エリアをその計画の中で重点区域というふうに定めまして、そこでいろんな施策を考える上での計画というものを今作っていて、国の認定を受けようとしている状況でございます。

○山下委員 あとは意見ですが、非常に大きな事業だと思いますので、ある程度中長期的な展望を持ったものを何かしら大きく示していただいて、教育委員会だけではなく、他の部署とも共同のものとして何かしらできればと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 149 ページの九谷磁器窯跡の調査と整備のところですか。マスコミでも話題になっていましたけれども、史跡公園として現状はどうなっているのか。それから今後どういうかたちでいつ頃整備を完了させるのかということについてお聞きしたいです。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 30 年度に地域関係者の方から要望がございまして、事業が中断している状況です。実際であれば、去年以降もあと 3、4 年かけて整備全体の完成まで進めていくところですけど、そういう状態で中断しておりまして、再開に向けて調整をしている段階です。

○篠原委員 2023 年度の新幹線開業の大きな目玉のひとつになり得る良い観光資源の一つだと思っておりますので、ぜひそれに向けて精力的に会議を開いていただきながら、地元の皆様方のコンセンサスも十分にとっていただきながら進めていただきたいと思いますと思っておりますので、よろしくお伺いいたします。

続いて 150 ページの大聖寺十万石城下町史蹟再生事業の推進についてです。先ほどから歴史

的風致維持向上計画の話が出ておりましたけれども、大聖寺地区を重点的にということで大変嬉しく思っております。大聖寺十万石城下町史蹟再生事業計画案が平成 25 年にありましたけれども、ぜひ一度、元々の原案を見せていただきたいです。それを踏まえて地元町民とも協議しながら、またいろいろご要望などを出していきたいと思っておりますので、ぜひお願いしたいと思います。

そして大聖寺城跡史跡指定に向けた準備ということで、調査報告書の総括補遺編が作られたと書いてありますが、それが完成したのかということをお聞きします。歴史的風致維持向上計画については、文化庁あるいは農水省、あるいは主管庁が国土交通省なので、その 3 庁と市の中でも連携を深めていながらタッグを組んで認定にこぎつけるように最大限の努力をさせていただきたいというふうに思っております。

最後ですが、関連事業にあります大聖寺藩由来の甲冑調査の調査状況を教えていただけないかと思えます。以上です。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 平成 20 年度くらいからいろいろ進めておりました大聖寺十万石城下町史蹟再生事業ですが、途中止まっている状況はあったと思うんですが、歴史的風致の都市計画での計画策定の話に入る以前に、教育委員会サイドで史蹟再生協議会の方々にいろいろ意見をいただいております。そういった要望をとりまとめまして、文化財から都市計画の方にそういった資料を提供しております。それに意見としては盛り込んだかたちで計画は進めておりますけれども、どの程度までその意見が反映できているかわかりませんが、意見の引継ぎは行なっております。

あと大聖寺城についてですけれども、平成 27 年度くらいまでで発掘調査を行なっております。その報告書は完成しております。

あと甲冑についてですが、文化財保護審議会でのいろんな指定に向けての意見が上がっていますので、今指定に向けて調査をしている段階です。

○篠原委員 大聖寺城の史跡指定の立派な報告書はあがっていますが、補遺編というのは前の報告書と理解してよろしいですか。

それから甲冑調査はいつ頃までに終了されるのか。現状としましてはいくつくらい調査の対象にあがっているのかわかる範囲で教えてください。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 補遺編は令和元年度となっておりますけれども、まだ作成中の状況だと思われま

す。甲冑ですけれども、最初いろいろ意見があったものと、もう 1 点これもいいんじゃないかという 2 点ほど話があったんですが、具体的にそれ以外に比較検討で何点のものを調査したかは詳細までは把握しておりません。申し訳ありません。

○篠原委員 またわかりましたらお教えてください。ありがとうございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 151 ページの保存地区の適正な維持管理ということで、保存すべき伝統的建造物を適正な修理周期で保存していくとあります。橋立、東谷地区で 100 件余り保存すべき建物があるというようなことですが、この修理される保存建造物について、実際に人が住んでいる建

造物であるとか、今は住んでいないけれども管理しているのかをおわかりになる範囲でお願いします。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 橋立の 58 件と、東谷の 42 件で保存修理事業が行われたとありますが、これは今までの実績でして、実際には橋立は 110 件ほど、東谷は 130 件ほどございます。それらの空き家率ですけれども、橋立は 70、80%くらいは住んでいて、20%くらいが空き家になります。東谷は半数以上は空き家になっているかと思えます。ただ東谷に関しましては、そこに住んでいなくても麓の山代におられる方ですとか、山中温泉におられる方々が家を管理している実情がございまして、放置空き家になっているところは実際は少ないと思われまます。それ以外にも最近、東谷には移住されている方が多くおまして、外からの移住ということで、そういった自然環境を好まれて、そこに住まわれる方は近年多くおられます。

○山下委員 結局 30 年周期といっても普段住まわれていないところでは、それ以前に風化してしまうだろうということで、この事業は大変素晴らしい事業だと思うんですが、保存地区に指定された中で、何のための保存であるかを今一度検討されたいのかなど。非常に大きな予算を使うわけですけれども、保存のための保存にはなっていないかなとちょっと危惧したものですから、その辺を一旦整理していただくことが必要になるかと思えます。例えば、今度出ます歴史的まちづくりとか、それを観光に結び付けるとかいう大きな長期展望が見えれば保存して活用ができるんですけれども、なんとなく保存のための保存になっていないかなというのを思いまして、その辺一旦検討される場所がないのかなと意見として言わせていただきます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 23 号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）について、回答の保留もございしますが、賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決いたします。続きまして議案第 24 号、文化的景観の保存に関する計画の策定について澤出課長お願いいたします。

- 議案第 24 号 文化的景観の保存に関する計画の策定について
澤出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 保存活用書の 49 ページをご覧ください。地図の八幡神社の位置が違っているのではないかと思います。47 ページの下福田の八幡神社と、49 ページの山岸の八幡神社がまるつきり同じです。これを出されたならば、地図だけは早急に訂正なされた方がいいと思います。

○澤出課長 修正いたします。ありがとうございます。

○山田教育長 また持ち帰ってご覧になって、間違い等がありましたら後日でもご連絡いただければと思います。

他、ございませんか。それでは議案第 24 号、文化的景観の保存に関する計画の策定について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。続きまして議案第 25 号、令和 2 年度 9 月補正予算要求（教育委員会関係）案について渡部課長お願いいたします。

- 議案第 25 号 令和 2 年度 9 月補正予算要求（教育委員会関係）案について
渡部課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 感染症対策のための保健衛生用品等購入費ですけれども、石けんとかアルコールは十分にいっていると思うんですが、ノータッチディスペンサーは各学校に確実に何台かがいくのかどうか、具体的に各学校に 5 台とか 10 台とか、あるいは非接触型体温計やスポットエアコンはどのくらいいくのかわかりましたらお願いいたします。わからなければ次回で結構です。

○山田教育長 では、次回に回答ということをお願いいたします。

他、ございませんか。

○山下委員 中学校の修学旅行の変更に伴う減額についてです。実際に行けるかは未定ですけれども、果たして減額になるのかどうかというのは、宿泊先の宿泊室の人数、バスの乗車人数等々がもし実施するとすれば半分であるとか、そういう数字で試算されたもので減額になったのかというのをお尋ねしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 当初の関西は難しいということで、そこから検討している県内での試算をした中の金額になっております。

○山下委員 もし実施するにしてもバスの乗車人数は半数とか、宿の定員の半分以下とかいうのを徹底すると果たして減額になるのかなと思いましたので。

○公下次長 宿泊日数が減ることもありまして、減額になっています。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 25 号、令和 2 年度 9 月補正予算要求（教育委員会関係）案について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議事項は終わりました。

続きまして報告事項に入ります。報告第 41 号、修学旅行・運動会（体育祭）の実施について公下次長お願いいたします。

- 報告第 41 号 修学旅行・運動会（体育祭）の実施について
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○佐野委員 運動会で保護者等は原則参観しないとなっておりますが、小学校 6 年生や中学校 3 年生の保護者も短時間でも見ることはできないんですか。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 これは各学校で工夫したやり方をしておりますので、その学校での対応になって

おります。生徒1人につき保護者2名とか、あるいは本当にいれないとか、その状況の中での対応になりますので、学校に確認をお願いいたします。

○山田教育長 学校によっては低学年だけでやるとか、密にならないように、全校一斉にやらないでその代わりに保護者をいれるとか、そういう工夫をされている学校はあります。学校によってですね。

他、ございませんか。続きまして報告第42号、加賀市小中学校科学作品展について公下次長お願いいたします。

- 報告第42号 加賀市小中学校科学作品展について
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
続きまして報告第43号、令和2年度生涯学習課関連事業の中止について宮下課長お願いいたします。

- 報告第43号 令和2年度生涯学習課関連事業の中止について
宮下課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
それではその他に入ります。石川県民体育大会の中止について田中課長お願いいたします。

- 石川県民体育大会の中止について
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
それでは次回教育委員会定例会の日程について渡部課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について
渡部課長 説明

○山田教育長 9月25日金曜日の10時30分からということで予定に入れておいてください。
この際ですから、委員の方から何かございますか。よろしいですか。
それでは以上で第11回教育委員会定例会を閉会いたします。
御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。